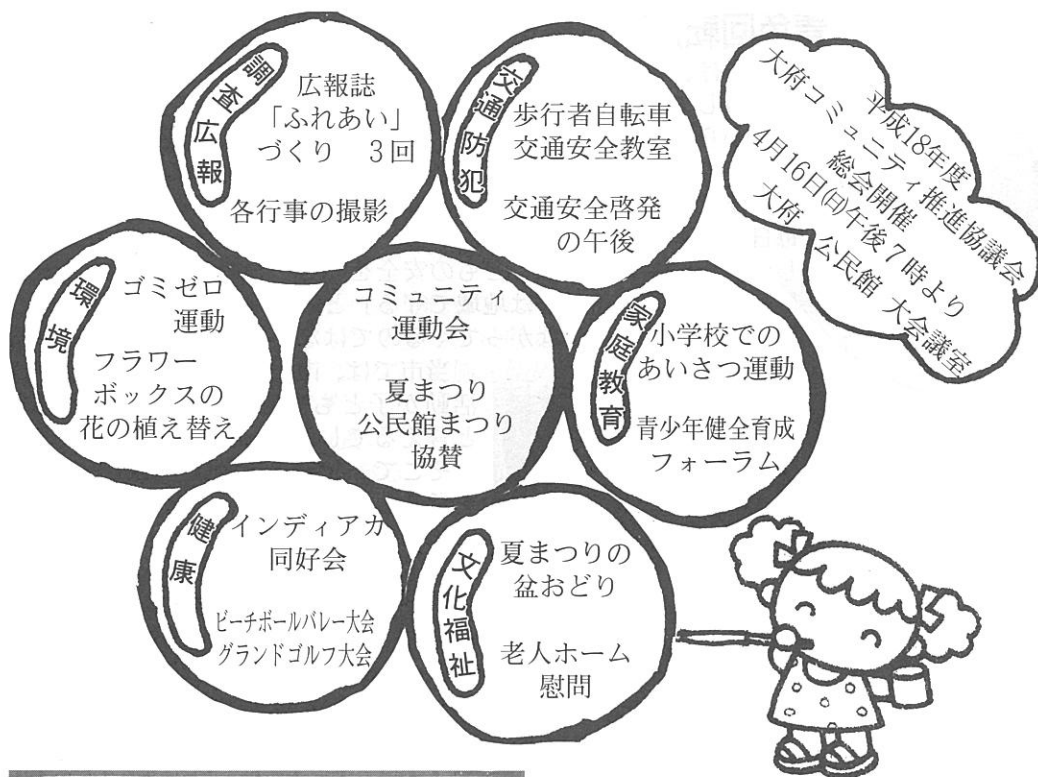




ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局

大府公民館
TEL48-1007



交通安全啓発の午後

2月11日開催



芸能祭

2月19日開催



助けあう
家庭と地域を
創造しよう

青少年健全育成事業 (11月20日開催) 家庭教育部会



子どもたちの ふれあいが コミュニティ



者対策協議会

ミ
ロー
ル
ま
す

ユニティ大運動会 1日(日) 開催



青色回転灯パトロールカーによる防犯パトロール

私どもは、警察OBという経験を生かすべく、市内の防犯パトロールに従事しています。

昨年、不審者出没が多発していることから、警察等からの情報に基づいて、下校時間帯の通学路パトロールを実施しています。

通学路での子どもたちの元気な姿に励まされながらパトロールをする毎日です。

しかし、パトロールは子どもの安全を守る一つの手段に過ぎません。

最後は「地域の子どもは地域で守る」という地域の皆様の思いが、子どもを守ることに繋がってくるのではないのでしょうか。



当市では、市民の活発なボランティア活動が子どもを守っている状況にあると言えるでしょう。

そこで、父兄の皆様は、これらの状況を承知していただき、子どもと一緒に通学路の危険箇所を点検したり、日常生活を通じて子どもに防犯の心構えを教えてあげて欲しいと思います。

今後も、子どもの安全確保に万全を尽くしていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。



大府
子ども
110番
の家

学区内19箇所に
加え、17年度か
ら理容組合の
方々が参加して
います。

あいさつ運動



毎月第1月曜日コミュニティの皆さんが校門で声をかけます。

地域で育つ大府小学校の子どもたち

大府小学校教頭 知崎純二

子どもは家庭や地域で日々育ち、その上で学校へ通ってきます。それはどこでも同じなのに、大府小学校にいと特にその感を強くします。それは、何故か？それは学校で見られる素直な姿から、家庭や地域で子どもたちが確かに育っていると感じるからです。また、さまざまな地域の催しから、子どものことを思う大人が地域の中で網の目のように繋がりが合っていると感じるからです。

子どもの成長を願う気持ちは、子供会やスポーツ少年団、大府公民館を中心とした催し、大府コミュニティによる「あいさつ運動」や愛のパトロール、長寿会のシルバーパトロールなどで、具体的に子どもを育てています。

「コミュニティ運動会」は、地域の人々の繋がりがあってこそできる行事です。人の繋がりは地域の財産です。この財産をもち続けられ、この地域でこれからも子どもが育ち、将来、次の世代のために力を発揮する大人になっていくと思います。子どもを中心に地域の人々が集って「絆」を強めるコミュニティ運動会を大切にしてほしいものです。

長寿会によるシルバーパトロール

大府老人クラブ長寿会のシルバーパトロールは、一昨年十一月、奈良県で起きた女児誘拐殺害事件が契機となった。丁度この時期、大府長寿会では、活動のより活性化を目指して、長寿会壮年部の発足を話し合っていた。その話し合いの中で、シルバーパトロールの実施が提案された。そして、これは壮年部のみならず、長寿会の全会員にも呼びかけて、昨年一月から、大府小学校区で有志により実施することとなった。さらに六月からは石ヶ瀬小学校区でも実施するようになった。

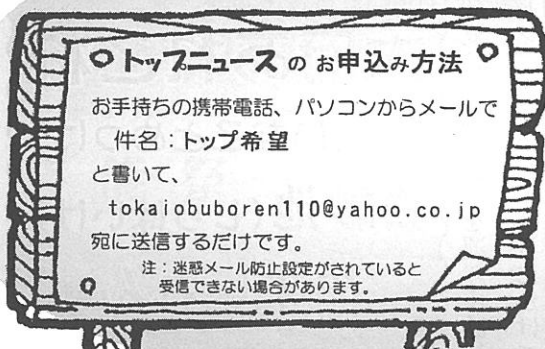
現在、大府小・石ヶ瀬小学校区で約百名の有志が、週一回程度の当番制で、一・二年生の下校時刻に合わせてパトロールを実施している。実施を始めて一年余を経過するが、地域で子どもたちを守ろうとという問題意識の持続や息の長いパトロールの継続はなかなか難しいのが現状である。



大府中学校では今 (今後のとりくみ予定)

- ・生徒が、自分たちでお互いの情報を共有して注意しあうことを目的に防犯マップを作成中。
- ・緊急性の高い内容を素早く知らせるために保護者向けに、不審者情報のメール配信を検討中。

地域の犯罪情報 トップニュース をご存じですか？



みんなで守る 「地域の人と 最大のセキ



子どもたちは地域の宝

大府小学校PTA会長 鈴木善広

昨年から今年にかけて悲しい事件が相ついでいます。それに対して国や自治体、地域、学校が様々な対策をとっています。大府小学校区でも長寿会のシルバーパトロール、コミュニティも参加しているひまわりパトロール、子ども110番の家などを実施し、東海警察もパトカーによるパトロールを強化して下さっています。子どもを持つ私たち保護者は、そのような活動を理解・協力し、感謝の心を持つことが必要ではないでしょうか。また、地域の様々な年代の方々との交流を持つことによって子どもたちも安心して生活できると思います。そのような意味では、コミュニティ運動会は子どもたちと地域の方々との交流をとる絶好の機会です。子どもたちは地域の宝です。私たち保護者と地域の方々との交流によって子どもたちを見守り、育てていく大府地区でありたいと思います。最後にいつも子どもたちの安全、安心のため尽力して下さっている皆様に対し厚く感謝申し上げます。

第33回 大府コン 平成18年5月



あの人この人

山田俊明さん

— 中央町 —

今回は、山田整形外科（中央町）の院長である山田俊明さんを紹介し
ます。

山田さんは、岐阜県小原村出身で、現在は、奥様と大学生の息子さんと三人家族で病院の隣に住んでいます。高校時代は、刈谷市内にある親戚の家に下宿していたそうですが、一年生の三学期から二年生の一学期にかけて急性肝炎を患い、闘病生活を送られ、留年しそうになったとのこと。その後、岐阜大学医学部に進学しましたが、二年間の教養課程を終える頃は、パイロットへの憧れから航空大学への編入を真剣に考えられたとか。回りの反対によりパイロットへの道は断念されたとのことですが、友人の操縦するセスナでの夜行飛行の話をする山田さんとはとても楽しそうであらうと思えるほどでした。

山田整形外科は、最大病床三十六床を持った救急指定病院から、整形外科診療の他に平成十二年の介護保

健制度施行により立ち上げられた介護事業で二タイプのデイケアプログラムを用意したりして介護支援も行ってられます。

医療の進歩とともに専門医としての資格を維持するための研修や講習会にも出席され、ほとんど休みのない生活を送られています。たまの休みは、ゴルフや読書で過ごされるそうです。

診療に来る子ども達についてお聞きますと、小学生以下の子ども達は、受け身が下手なのか手をつかないので顔にケガをして来る子が増えたそうです。昔と比べ、外で遊ぶ事が少なくなったので、反射神経が弱くなったのでしょうかと話されていました。

取材にお邪魔したのは、午前の診療が終わった後のお昼の休憩時間でしたが、心よくインタビューに応じていただきましたありがとうございました。



大府あれこれ

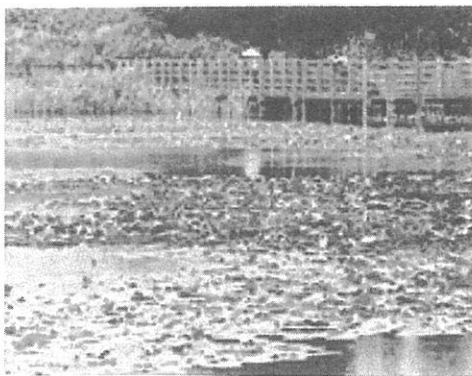
“きれいなことめつけ” 白鯒池(しらはいけ) のすいれん

(大府市ホームページより)

初夏の大府に涼風を運ぶ白鯒池のスイレン。五月下旬～八月にかけて、ピンクや白、黄色の可憐な花々が池一面に彩りを浮かべ、幻想的な風情を漂わせています。自生のスイレンは全国でも珍しくなり、毎年多くの人々が散策に、あるいは写生や撮影をしようと池のほとりに集います。

池の周囲は約七〇〇メートルで、広さは約二・八ヘクタール。長草町東忍場（ひがしおんば）にある農業用のため池で、知多半島道路の東側に位置しています。池の北部の一部をまたぐ形で、木製の水上デッキが造られスイレンの花を間近に見ることが出来ます。スイレンの花は、一日中咲いているわけではなく、午前9時ごろから開き始め、

午後4時ごろには閉じてしまします。アクセス…アピタ交差点を東海市方面へ約一二〇〇m、田面交差点を左折約一九〇m、本郷交差点を右折約七〇〇mで到着。



あとがき

一年前、新聞のおすすめ文に背中をおされ、おもいきって三年日記を購入しました。長年、四月スタートの手帳にあこがれながら、一～三月のためになかなか思いきれなかった欲求不満がこれで解消。さて、二〇〇六年度も、一年前を反省しつつ、二〇〇七年度に備えて新しい一日一日を書き加えていきたいのですが……。

来年度も、大府コミュニティ及び、「ふれあい」をよろしく願います。